

質問事項	質問の要旨
<p>1 人口減少、町として何をすべきか</p>	<p>人口減少時代を迎えている中で、消滅自治体ともいわれる指標も出ており、各自治体は今後の人口維持について早急な対応に迫られていると思われます。</p> <p>(1) 定住人口・交流人口増加の対策を町としても行ってきたと思いますが、結果として定住人口・交流人口は震災後からどのように推移してきましたか。</p> <p>(2) 定住人口・交流人口増加の対策として、更なる対策を今後どのように考えていますか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>
<p>2 観光交流エリアの今後の計画は</p>	<p>最近では遊具を寄付していただく企業もあり、交流エリアの骨格が見えてきたと思います。</p> <p>2017年4月頃の新聞報道によると、プレジャーボートなどを係留するフィッシャリーナを整備し、エリア内には植栽を施し、水遊び場や家族でくつろげる空間を造り、スラックラインやバスケットボールコートなどのスポーツができる場や、バーベキューや芋煮が楽しめるスペースも設ける構想とのことでしたが、今現在どのような計画になっていますか。</p>

質問者 宮元 潔

質問事項	質問の要旨
	<p>(1) 観光交流エリアは、女川の交流人口を増加するためのツールとしてとても重要な場所となります。今後の計画をお示してください。</p> <p>(2) 今後のフィッシャリーナ計画は。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>